

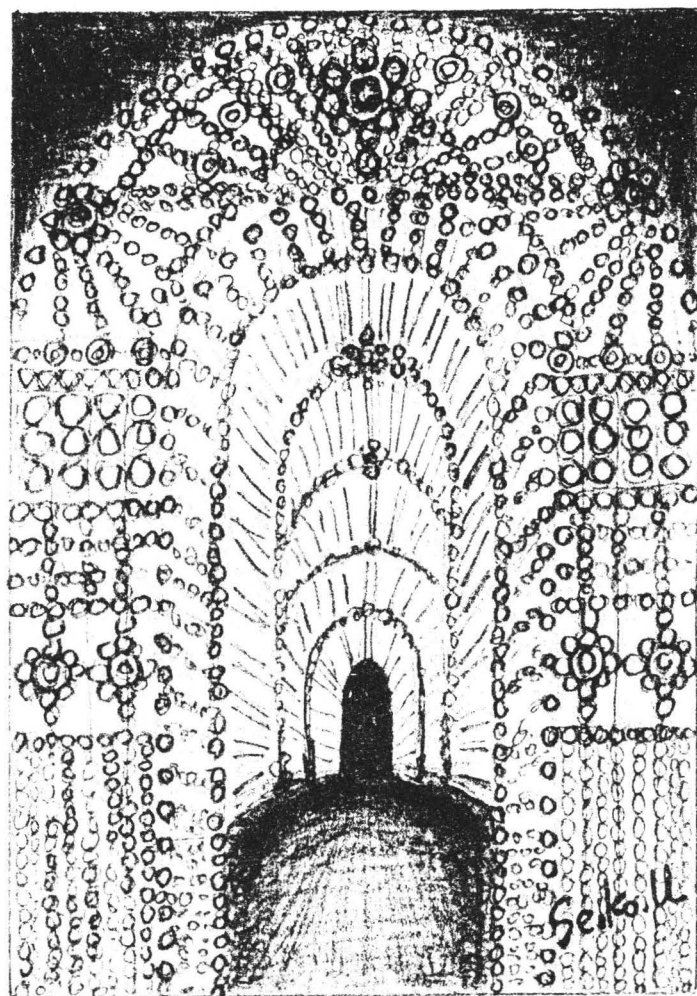
避難していた方に感謝

横浜市鶴見区総務課統計選挙係

森田 利巳

平成7年2月の初旬、大地震から1ヶ月が過ぎた頃私は、自治労ボランティアの一員として神戸へ救援活動の手伝いさせてい

ただしました。私が救援活動をした所は神戸市立真陽小学校という避難所でした。避難所へ向かう途中でTVなどでも盛んに撮



え：内海聖子

影されていた長田駅周辺を通っていくのですが、辺り一面焼け野原といった感じでまるで火の威力というものを体感しながら避難所へ向かいました。他にも住宅がクシャクシャに潰れていたりビルの途中階だけがあるものなど生で見なければ実感できない「スゴイ」ものがたくさんありました。

避難所では、私たちが救援活動に入った初日までは救援物資の物を除いて自衛隊などの給水車からしか水を得ることしか出来ず不自由な状態でしたが2日目以降は水道が復旧していましたので水の苦労はさほどせずに済みました。食事については、1日2回送られてくる食事を配るのですが、送られてくる食事を避難所内でできている班ごとにわけて学校内に配り余った食事を避難所周辺に居住している方々に配るのも私たちの救援活動の1つの仕事となっていました。

他の救援活動としては避難している方々への電話連絡の取り次ぎや、救援物資の仕分や在庫確認、配布等がありました。また、私達自治労ボランティアの他にも大学生の純粋なボランティアも校庭の隅にテントを張り一緒に救援活動をしていましたが、彼らの方が行動に制約がない分避難所の方々と密着しているのではないかと感じました。最後になりましたが、1週間という大変短い期間でしたが貴重な体験をさせていただきました事と私達を受け入れてくださった真陽小学校に避難していた方に感謝します。

人・街・ながた

震災資料室だより

人・街・ながた

震災資料室

発行

〒653 神戸市長田区北町3-4-3
電話(078)576-2311

発行人/寿 広文

編集人/武川・福谷

準備号 Ⅱ

（じ）（く）（も）

1 オープンのお知らせ
2 神戸市立真陽小学校
3 他都市情報収集班
4 避難していた方に感謝

支え合って二年目

人・街・ながた 震災資料室が オープンします

一九九六年（平成八年）十二月現在の長田の人口は九、五五三人、世帯数三六、四九世帯です。

震災当時、区内人口約十三万人のうち四八、三六人が主だった避難所に身を寄せていました。

復旧から復興へ、仮設住宅から恒久住宅へ、私どもその一翼を担えれば

一九九七年一月十七日

ごご 〇時 30分

長田区役所三階、人・街・ながた
震災資料室



師走の風に揺れるコスモス、うしろに見えるのは「こうべの壁」と「ジョイプラザ」

他都市情報収集班

会計室

津村 正茂

他都市からの資料収集については、とりあえず、阪神大震災長田区職員記録誌「人・街・ながた」のなかに職員の派遣、炊き出し等の支援を受けたと記されている31都道府県の144の地方自治体（13県庁5区役所、104市役所、19町3村役場）へ、文書で長田区に関する震災関係の資料の提供を依頼しました。期限を12月25日までとしたので、今のところ、長野県松本市と、神奈川県綾瀬市の2市から資料の提供があり、何れも職員・ボランティアの支援活動記録集であります。その内容は区役所・避難所で従事した業務の状況報告・感想文などが載っているもので、共感することも多く参考になった。

今後、どんな資料がどれくらい提供されるのかかわからないが、できるだけ貴重な資料を発見し、整理保存するように努力するつもりです。震災から2年近くになり、

他都市提供資料

平成8. 1. 1. 27文書照会分

平成9. 1. 6現在

番号	受付月日	市区町名	資料名	数量
1	12. 5	長野県松本市	松本市からのボランティアの記録	1冊
2	12. 5	神奈川県綾瀬市	阪神・淡路大震災支援活動記録	1冊
3	12. 16	兵庫県立図書館	阪神・淡路大震災関連資料リスト（図書） 1996. 10. 31現在 （パンフレット・チラシ類）	1部 1部
4	12. 19	千葉県松戸市	松戸市職員の長田区避難所における ノート 3冊 写真 サービス版アルバム 3冊 パノラマ版アルバム 3冊 報告書 写し 1部	10点
5	12. 20	栃木県宇都宮市	神楽小学校での活動記録 1部 兵庫南部地震日誌 1部 写真 70枚	3点
6	12. 25	広島県福山市	写真 4枚	1点
7	12. 27	愛知県一宮市	消防応援派遣隊活動記録 阪神・淡路大震災	1部
8	9. 1. 6	東京都世田谷区	写真 25枚	1冊

一人一人の記憶はだんだんと風化していきます。被災者のなかには鮮烈な印象として思い出したくない人もあるでしょう。

しかし、被災地の長田区役所に阪神大震災関係の資料を保存し、後世に残すことも重要で意義があると考えます。また、資料室の業務を実践するなかで、ボランティア

活動の体験もでき、自分自身を磨き、成長するよいチャンスと捉えて、前向きに取り組みたいと思います。

なお、資料の収集方法、パソコンによるデータの管理方法についての情報があれば教えていただきますようお願いいたします。

できるかな？

避難所資料収集班では、当時避難所であった施設（学校等）約50ヶ所について資料の提出をお願いしました。

また、震災資料室設置の趣旨に賛同していただきました県会議員杉田さんと一緒に区内の小・中学校、高校については訪問し校長先生等に直接お願いをしました。

学校では、どのような資料が必要か、写真、ビデオ等はどのようにするのかなどの

話がありました。ある学校では資料室を子供達に開放していただき教材としても使用させていだきたいとの話もありました。

今後は、どんな資料が必要か具体的に項目を上げて資料収集に努めて行きたいと思いますが、写真の整理、ビデオの編集など多くの問題が残されています。

また、学校等を訪問するスタッフも不足しています。何か良い方法がありましたら教えてください。ご協力お願いいたします。

避難所資料収集班スタッフ一同

西神戸中小企業指導所開館す

石田 正雄

（元当指導所職員）

大橋町3丁目のケミカル会館にある、当指導所の地震直後の状態は、窓ガラスは火事で全壊、柱は10センチ程裂けて向こうが見え、壁は全部×印に裂け目が入っている

た。もちろん書棚は倒れ机も破損、床はガラスと本が散乱して歩けないような状態でした。事務所の北も西も全焼の焼野原、角の三階建ビルは道に45度傾斜、向かえの工場は道一杯にハミだして移動、電線はぶら下り、その電線を伝って火事が広がったのでした。

さて、開館、窓は板張りとしビニール張り、トイレは50メートル先の移動トイレ、水は若松公園まで職員自ら搬送、余震も時に

あつて机の下に避難しました。ビルの表戸は閉まらずコンクリート塊で押さえて避難だけでした。このような中、直後の2月15日から震災特別融資の受付を始めたところ、多数の中小企業者が申込みに来られ復旧に役立ったと聞いています。

震災からほぼ2年、神戸市民は本当によく頑張りました。今はまさに別世界の感があります。これから、資料整理を始めたいところです。

震災資料室 OPEN

1997 | 17

長田区役所 302号室

震災資料室を開設します。

あなたの参加を歓迎いたします。